

ドイツ語ニュースを聞く会 2023年6月16日分 題材①

Sozialer Aufstieg – weiterhin nicht einfach ①～⑤

社会進出（世の中に出て行くこと） – 依然として容易ではない

①

In Deutschland entscheidet häufig die soziale Herkunft darüber, welche

akademischen oder beruflichen Chancen jemand hat. Kinder aus Nicht-

Akademikerfamilien werden oft benachteiligt – und das bereits in der Schule.

ドイツでは社会的背景から しばしば 学業上または職業上のチャンスを持っている誰かに決ま

る。大学教育を受けた親の家庭からの出身でないと子供達は不利に扱われる、そして それはす

でに学校の中でもあります。（大学教育を受けた親の家庭でない子供たちは、学校でも不利な立

場に置かれることがよくあります。）

（単語調べ①）

Aufstieg (男)上昇 出世 昇進、 sozial (形) 社会的な

weiterhin いまだに、 entscheiden 決まる、 häufig(形)しばしば

Herkunft (女) ①素性、家柄、血統 ②由来、期限、

akademisch (形) 大学の、 beruflich (形) 職業上の、

Akademikerfamilien 学位上のを持っている親の家族、

jemand 誰か、 benachteiligen 不利に扱う、 bereits (副) すでに、

②

Um in Deutschland erfolgreich zu sein, muss man vor allem fleißig sein und Leistung zeigen:

Das hört sich gut an, stimmt aber leider nicht immer. Denn Talent und Fleiß allein reichen häufig

nicht aus, um in der Gesellschaft aufzusteigen. Wichtig ist auch die Frage, aus welcher Familie man kommt. Denn die soziale Herkunft bestimmt noch immer entscheidend darüber mit, welche beruflichen Chancen jemand hat.

ドイツで成功するためには、特に勤勉であり、そしてその成果を見せる必要がある。それは良さそうに聞こえるが（聞こえは良いですが）それはいつもそうとは限らない。

なぜなら、才能や勤勉だけでは社会の中に昇進（進出）するには十分でないからです。どんな家庭の出身かという質問も重要です。

なぜなら、社会的背景はいまだに、その人がどんな職業的チャンスを持つかの決定に関わるからです（決定的な影響を与える）

（単語調べ②）

erfolgreich（形） 成功した 効果の上がった、fleißig（形） 熱心な 勤勉な、

Leistung（女） 成績 業績 成果

an/hören じっと聞く hört sich gut an ～良さそうに思われる

stimmen 事実と合致する うまくいっている

Talent（中） 才能、 aus/reichen 十分である、

häufig（形） しばしば、 um～zu～ ～のために、

aufsteigen 登っていく 昇進する、 mit/bestimmen 決定に関わる

③

Die Diskriminierung fängt schon früh an: Kinder aus Akademikerfamilien besuchen viel häufiger das Gymnasium als andere Kinder. Auch ihr späterer Bildungsweg hängt oft mit der Bildung der Eltern zusammen: So beginnen 79 von 100 jungen Menschen aus Akademikerfamilien ein

Hochschulstudium – aber nur 27 aus Nicht Akademikerfamilien. Relevant ist dabei auch die finanzielle Situation der Familien.

差別は早い段階から始まります。学歴の高い家庭の子供たちは、他の子供たちよりもはるかに頻繁に（多くの子供が）ギムナジウムに通っています。彼らの今後（将来）の教育進路は、親の教育（学歴や職業）と関連していることがよくあります。学歴のある家庭の若者 100 人のうちの 79 人が大学での勉強を始めますが、学歴のない家庭では 27 人だけです。家族の経済状況も関連します。

（単語調べ③）

Diskriminierung (女)差別、

viel häufiger ~ als 比較級 ~よりはるかに頻繁に

Bildungsweg (男)教育進路、

mit et³~ zusammen/hängen mit et³~と関係がある 関連している

von 部分に対する全体を示して ~のうち ここでは 100 のうちの

Hochschulstudium–Hochschulbildung (女) 大学教育

Hochschule(女) 単科大学、relevant (形)関連した 重要な 意味のある

④

Vielen jungen Menschen aus ärmeren Familien fällt es schwer, sich für ein Studium zu entscheiden: Wer studiert, muss später vielleicht Schulden zurückzahlen – ohne Hilfe der Eltern. „Menschen aus armen Familien müssen ungleich mehr Risiken auf sich nehmen und mehr leisten, um aufzusteigen, als die, die in die Mittelschicht oder ins Bildungsbürgertum hineingeboren

wurden“, sagt Journalistin Konstantina Vassiliou-Enz, die sich für mehr Diversität in den Medien einsetzt.

貧しい家庭の多くの若者は、大学に進学するかどうかを決めるのが難しいです。親の援助なしに勉強する人、その人たちは 将来 借金を返済しなければならない。「貧しい家庭に生まれた人々は、中産階級や教育を受けた中流階級に生まれた人々よりも、はるかに多くのリスクを背負い、（社会に出るため）より多くの努力をしなければならない」と メディアの多様性を主張するジャーナリストのコンスタンティナ・ヴァシリュー・エンツは言う。

(単語調べ④)

schwer/fallen 難しいことを見つける

ungleich (形)同じではない、

Risiko の複数形は Risiken リスク、auf sich⁴ nehmen 危険を引き受ける リスクを背負う

leisten 果たす 多くの努力、Mittelschicht (女)中流階級、

Bürgertum(中) 中産階級 市民階級

hineingeboren ~に生まれた

Bildungsbürgertum hineingeboren 中産階級に生まれた人々

Diversität 多様性、(Diversifikation 女)

sich⁴ für ~j⁴ einsetzen ~に肩入れする 力を尽くす 主張する

⑤

Vielen fehlt aber auch das Vertrauen in die eigenen Fähigkeiten. Natalya Nepomnyashcha vom „Netzwerk Chancen“ findet, man sollte „sich erst mal davon (...) lösen, was einem oder einer eingeredet wurde: Dass man nicht gut genug ist, dass man nie einen guten Job haben

wird.“ Wichtig sei aber auch, dass Arbeitgeber etwas gegen soziale Diskriminierung tun – indem sie zum Beispiel bei Bewerbungen weniger auf Qualifikationen als auf Kompetenzen achten. Denn gerade soziale Aufsteigerinnen und Aufsteiger waren vielleicht nicht an Top-Unis oder haben nicht immer sehr gute Noten – talentiert können sie aber trotzdem sein, so Nepomnyashcha.

しかし、多くの人は自分の能力への信頼に欠けています。（自信を持っていません） 「ネットワーク・チャンス」のナタリア・ネポムニャシュチャ氏は、

“まず 第一に あなたは十分でない、決して良い仕事に就くことができない”と吹き込まれてきたことから解放されるべき、と思います。

重要なのは 雇用主は社会的差別に対して何らかの行動をとります。

たとえば、志願に対しスキルよりも資格にあまり注意を払わないようにするなどです。（雇用試験でスキルよりも資格にあまり気をとられないようにする）

なぜなら、社会的成功者はトップクラスの大学に通っていないかもしれないし、必ずしも良い成績を取っているとは限らないからである。

彼らは有能である可能性があるにも関わらず、とネポムニャシュチャ氏は言う。

（単語調べ⑤）

fehlen 欠ける 不足する、Vertrauen (中) 信頼、Fähigkeit(女) 能力 才能

sich von etwas lösen 何かから解放される

sich³ von et³ lösen 取り除く 解放される 外れる

ein/reden jemanden etwas 人に言われてきたこと 吹き込まれる

Diskriminierung (女) 差別、Arbeitgeber 雇用主

indem ~することによって~しながら

Bewerbung (女) 応募 志願、Qualifikationen (女) 資格 能力、

Kompetenz (女) 専門知識 スキル 能力

weniger ~ achten あまり注意を払わない あまり気にかけない

gerade (副) 必ずしも、Aufsteigerin・Aufsteiger 成功者、

talentiert (形) 有能な 才能のある



Natalya Nepomnyashcha vom „Netzwerk Chancen“

ナタリア ネポムニヤシュチャが提唱する„Netzwerk Chancen“とは

<https://www.netzwerk-chancen.de/natalya-nepomnyashcha>

Vorkämpferin für Chancengleichheit, Bildungsaufstieg & soziale Diversität

機会 (チャンス) の平等のために戦っている女性、教育の進歩と社会の多様性

1989 in Kiew geboren, wuchs Natalya Nepomnyashcha in einem sozialen Brennpunkt in Bayern

auf. Ohne jemals Abitur erworben zu haben, machte sie 2012 einen Masterabschluss in

Großbritannien. Nach dem Studium der internationalen Beziehungen war sie u. a. für eine der

weltweit größten Unternehmensberatungen sowie eine NGO aus Westafrika tätig.

2016 gründete sie nebenberuflich Netzwerk Chancen. Das soziale Unternehmen bietet ein ideelles

Förderprogramm für soziale Aufsteiger*innen zw. 18-39 Jahren und kollaboriert mit potenziellen

Arbeitgebenden. Gleichzeitig setzt sich die Initiative dafür ein, dass die soziale Herkunft als

Diversity-Faktor anerkannt wird. Natalya Nepomnyashcha leitet die Organisation ehrenamtlich

neben ihrer Vollzeitbeschäftigung.

1989年にキエフで生まれたナタリア ネポムニャシュチャは、バイエルン州の社会的な焦点の中で（貧困地域）で育ちました。2012年、彼女は高校卒業資格なしで英国で修士号を取得しました。国際関係学を学んだ後、彼女は世界最大の経営コンサルティング会社と西アフリカのNGOなどで活動していました。

彼女は2016年にサイドワークとして「Network Chancen」を設立しました。この社会的企業は、18歳から39歳までの社会的躍進をしたい人に理想的なサポートプログラムを提供し潜在的に雇用主と協力する。

この取り組みは多様性の要素としての社会的背景が認識されるようにイニシアティブを持つものでもあります。

同時に、この取り組みは社会的背景が多様性の要素として認識されるようにするものでもある。

ナタリア ネポムニャシュチャは、フルタイムの仕事と並行してボランティアでこの組織を運営しています。